

## 我が家の扶養家族

2015. 3. 1

今朝も我が家の狭い庭に来客です。人間ではありません。ピー、ピーッと餌をねだる野鳥達が大騒ぎしています。雨戸を開けると同時に鳥は朝早いので、私達の朝食を支度する前に、昨夜の残飯をほぐして鳥にあげます。台が低いと猫ちゃんに襲われるので、高い位置に餌台を作りました。

ヒヨドリ、メジロ、雀など野鳥に餌を与えると、自分で餌を探さなくなると聞きました。あまり鳥にとってよくないのだそうです。それでもある専門家の方が、酷寒の頃は餌がなく、鳥たちも大変なのであげても良いらしく、冬場だけにしています。

雀は穀類、メジロは椿の花の蜜やりんごの芯のところ、ヒヨドリはりんごの皮や椿の花が大好きでムシャムシャ食べます。りんごの芯は木の枝に刺してあげるとメジロやヒヨドリは喧嘩しながら大喜びで食べます。

今年は4年目にしてやっと咲いた蠟梅の花と蕾を1日ですべてヒヨドリに食べつくされました。実家から母が亡くなる前に貰った木で、花の咲くのを楽しみしていました。悔しいですが、何日か楽しめたので許してあげました。鳥達も生きるために必死だったのでしょう。先日の雪の降る日は、餌も凍って可愛そうでした。

それでも我が家に来る鳥達は、丸々と太っていて栄養満点です。とりすぎかなと思います。これから温かくなるにつれ、ヒヨドリやメジロがいなくなり、鶯がケキョ、ケキョと泣き始めます。それも楽しみです。

さて今晚も少し多めにご飯を炊きます。少なめに炊くと私の分を雀にあげなくてはなりません。主人に「雀の分を少し残しといてやれ」と言われてしまうからです。ダイエットになっていいかもしれませんが・・・。

2人の息子もそれぞれ家庭を持ち、自立しました。冬の間だけでもおいに楽しませてくれ、心をなごませてくれる鳥達は可愛い、可愛い我が家の扶養家族です。

川口市在住 江戸川区出身 山田 敏子